

届け 世界の果てまでも

令和3年 3月 5日

No. 69

文責 校長 飯久保一男

時間を守ること



ウルトラマンが時間を守らないと…

人と人がつきあう上では、さまざまな礼儀やマナー、ルールやモラルがあります。このことについては12月にも書かせてもらいました。礼儀やマナーがいい加減な人は、嫌われたり、変な目で見られたり、陰口を言われたりということになってしまいます。

日本人は「時間を守ること」を重視します。国によって、時間に正確であることが礼儀・マナーになる場合も逆の場合もありますが、日本では、遅れないことはもとより、約束の時間より少し早めに行動したほうが、礼儀・マナーになることが多くあります。日本人の時間の厳しさは世界でも有名です。

…日本の電車やバスなどの到着時刻や発車時刻が正確であることに驚く海外の観光客が多いという話は、以前にこの紙面でも書きました。これは日本が世界に誇れることです。電車が定刻よりも1分早くても1分遅れても日本では大問題になります。つくばエクスプレスが20秒早く発車しただけで謝罪文をホームページに掲載したことも、この紙面で紹介しました。しかし、逆の面もあるそうです。日本人は、会議の開始時刻は厳しく守るけど、終わりの時間は守らず、延びることが多いという海外の人の批判は多いとのこと。

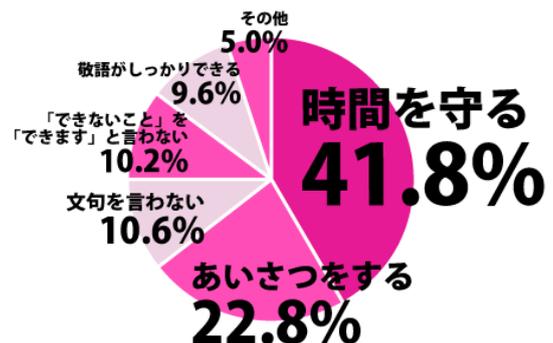
…脱線します。「5分前行動」という言葉があります。予定時刻の5分前には、その場所に着き、定刻に始められるように準備を整えておくことを意味します。予定した時間よりもあまりに早く着くなどすると逆に失礼になる場合もありますが、5分前にはそこに着いているとちょうどいいといわれるのが日本の礼儀です。実はこの「5分前行動」という言葉は、戦前・戦時中の「日本海軍の行動方針」がもとになっているのです。海軍では出港時刻の5分前に軍艦に乗り込むためのタラップが離岸するので、出港時刻の5分前には帰艦するように躡けられていたことが由来とされています。5分前に帰艦しなかった場合は、敵前逃亡と同等とされ銃殺刑も適用されたとのこと。

…さらに脱線します。私が海外研修に行ったニュージーランドでは「5分後行動」がマナーとされていました。約束した時間に行くと失礼にあたり、約束の時間を少し過ぎたあたりに行くことが失礼のない行動とされていました。国によりマナーやモラルは様々です。出された食事を完食しないと失礼にあたる国、残さないと失礼にあたる国などもあります。日本人は環境に合わせることでできる数少ない国民性を持っていると思います。「郷に入っては郷に従え」ということわざは、それを象徴しているように思います。

学校生活の中では、時間を守ることは大切です。遅れた人を他の全員が待つようなことは、その全員の時間が無駄になってしまいます。

大人の世界では、さらに厳しく、時間を守らないことや期限を守らないことは、信用を失うこととなります。一度失われた信用を取り戻すのは、遅れた時間、守らなかった期限の何倍、何十倍もの時間をかけなくてはならないのは、当たり前のことでしょう。

仕事をする相手に最も求める要素（しらべえ編集部より）



対象：全国20代～60代 男女計500名

学校で集団生活をしていると、様々な場面で時間を守ることが必要になります。

＜授業の開始時刻＞ ＜〇時〇分に□□へ集合＞ ＜〇分間休憩＞ ＜〇分間でやりきる＞など…

終わりの時間を守ることが必要です。10分休憩をして再開する活動は、10分たったら動き始めるのではなく、10分の間に休憩をとり、次の準備をし、10分後には始められるようにすることが肝心です。



計算してみます。授業を始めるのが毎時間1分遅れたとします。毎日6校時まで授業をすると、1日に6分の時間を失うこととなります。学校には、1年間に200日ほどの授業日がありますので、

$$6分 \times 200日 = 1200分$$

の時間を1年間で失うこととなります。小学校は1校時が45分ですから、

$$1200分 \div 45分 \approx 27校時$$

つまり、授業の開始時刻が毎回1分遅れると、1年間でほぼ1週間分の授業時間を失うことになってしまうのです。「ちりも積もれば山となる」の言葉通り、少しの時間の積み重ねがたくさんの時間を失うことにもなるのです。

時間を守らない人がいることは、時間を守ってまじめにやっている人の時間を無駄にし、活動時間などが少なくなり、終わりの時間が延びることになり…、と様々なマイナスの面が出てしまいます。

「正直者が損をする」学校や世の中ではいけません。

賢い人間は
時間を無駄にすることに最も腹が立つ。

ダンテ（イタリアの詩人、哲学者、政治家）



日本代表のルールはシンプルで
「時間厳守」「5分前行動」でした。
強いチームをつくる時には
こういった一見些細に思われるようなことが
一番大切です。

エディー・ジョーンズ（元ラグビー日本代表ヘッドコーチ）



おまけ <エレベーターの閉める ▶▶ ボタン押しますか？>

海外では、放っておけばいずれ閉まるという考えで、ほとんど押されないそうです。中にはこのボタンがないエレベーターがあったり、あっても機能していないエレベーターもあったりするようです。

このボタンを押して、1秒・2秒を稼ぐのが
忙しい国の人 = 日本人 だということです。



さらに本文とは何の関係もありませんが…

右は6年生を送る会の2年生の動画に登場した小道具(?)です。ちょうど2年生の教室で動画を見ようとしたところ「校長先生見ちゃダメ」という2年生、「何でだ？」と私、そこへこれが登場しました。プレゼントしてもらったので歴代の校長先生方の隣に飾りました…。

